

東海連合支部・番外編行事

“シャツハウスイトウ見学とおでんしゃ（豊橋鉄道の路面電車）の日帰り旅- 報告書

豊橋市内で3代に亘ってオーダーシャツの製造販売をしている伊藤政樹（H15Z）（東海連合支部役員）さんの作業場の見学と、おでんしゃ乗車（冬の間、豊橋市内を走る路面電車に乗りながら、おでんと酒が楽しめる）を実施しました。

日時：2025年1月17日（金）

参加者（敬称略）：清水堪蔵（49C）、阿部桂三（修46S-三重）、鶴岡徹雄（44M）、二宗光文（46M）、倉林弘行（44C-平塚）、清水光一（清水の友人）、清水堪蔵（49C）

1) シャツハウスイトウ見学

JR 豊橋駅改札口に16:15分 清水光一さんを除く5人が集合した。伊藤政樹さんの案内で、駅から徒歩10分ほどのシャツハウスイトウの店を訪問。伊藤さんのご両親が笑顔で出迎えてくれ、店の奥にあるオーダーシャツの作業場を案内してくれた。狭い場所だが、古いミシンやボタン付けの機械があり、長い間使いこんだ職場の良さがあつた。型紙作りの方法や型紙をハサミでなく、包丁で切る事も教えてもらった。生地は綿製が多く、イタリア製がメインで、スイスやオーラトリア製等もある。その後多くの生地見本が揃えてある店に移動して、阿部さん、鶴岡さん、清水はそれぞれ好みの生地を選んでシャツを注文した。

2) おでんしゃに乗車

派手な提灯を天井にぶら下げたおでんしゃは集合時間の18:10分にはJR豊橋駅前の路面電車豊橋駅前に駐車していた。おでんと弁当が並んでいるテーブルに定員の28名が乗り込んだ。18:23分電車の出発と同時に飲み放題の生ビールで乾杯。豊橋市内をゆっくり走る電車の車窓から外の景色を眺めながら、ビールと酒を味わう、粋な催しだ。一日に一車両だけの運行なので、インターネットの予約は1分で埋まってしまった。キャンセル待ちが出たのを二宗さんがタイミングよく予約してくれた。45分乗車して工程半分の運動場前でトイレ休憩をした後、同じ道を引き返した。20:00に出発場所の豊橋駅前に戻った。そこで解散して参加者はほろ酔い気分それぞれ帰路についた。普段経験できないことがやれた大満足の日だった。



シャツハウスイトウの作業場。



おでんしゃの前で。



おでんしゃの車内で。

記：清水堪蔵
世話役